

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 5 月 17 日 (2007.5.17)

【公開番号】特開 2005-293408 (P2005-293408A)
 【公開日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-041
 【出願番号】特願 2004-110089 (P2004-110089)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/023 (2006.01)
H 0 3 M 11/04 (2006.01)
H 0 3 M 11/22 (2006.01)
G 1 1 B 31/00 (2006.01)
H 0 4 N 5/00 (2006.01)
H 0 4 Q 9/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/023 3 1 0 A
 G 1 1 B 31/00 5 1 1 B
 H 0 4 N 5/00 A
 H 0 4 Q 9/00 3 0 1 E

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 26 日 (2007.3.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3】

請求項 2 に記載の電子機器装置であって、

前記判断手段は、前記記憶手段により記憶されたリズムパターン情報と、前記第 2 の検出手段により検出されたリズムパターン情報とをそれぞれのリズムパターン情報に含まれる総時間情報により正規化した上で両者を比較することにより類似を判断することを特徴とする電子機器装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 9】

電子機器装置に、

ユーザの操作を入力するステップと、

前記入力された操作のリズムパターン情報を、ユーザが指定した制御命令情報と対応付けて記憶するステップと、

前記リズムパターン情報の記憶後のユーザの操作を入力するステップと、

前記リズムパターン情報の記憶後に入力された操作のリズムパターン情報と前記記憶されたリズムパターン情報とを比較するステップと、

前記比較の結果、上記両リズムパターン情報が同一または類似であると判断された場合に、前記記憶された制御命令情報を基に、前記記憶されたリズムパターン情報に対応する制御命令を実行するステップ

とを実行させるためのプログラム。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 0】

サーバ装置に、

ユーザにより入力された操作のリズムパターン情報を、ユーザが指定した制御命令情報及び制御対象の機器に関する機器情報と対応付けて記憶するステップと、

前記リズムパターン情報の記憶後のユーザの操作のリズムパターン情報を受信するステップと、

前記受信されたリズムパターン情報と前記記憶されたリズムパターン情報とを比較するステップと、

前記比較の結果、上記両リズムパターン情報が同一または類似であると判断された場合に、前記記憶された制御命令情報及び機器情報を基に、前記記憶されたリズムパターン情報に対応する制御命令を前記制御対象の機器へ送信するステップ

とを実行させるためのプログラム。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

そこで、上記電子機器装置において、前記判断手段は、前記記憶手段により記憶されたリズムパターン情報と、前記第 2 の検出手段により検出されたリズムパターン情報とをそれぞれのリズムパターン情報に含まれる総時間情報により正規化した上で両者を比較することにより類似を判断するようにしてもよい。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 5】

本発明の主たる観点に係るプログラムは、電子機器装置に、ユーザの操作を入力するステップと、前記入力された操作のリズムパターン情報を、ユーザが指定した制御命令情報と対応付けて記憶するステップと、前記リズムパターン情報の記憶後のユーザの操作を入力するステップと、前記リズムパターン情報の記憶後に入力された操作のリズムパターン情報と前記記憶されたリズムパターン情報とを比較するステップと、前記比較の結果、上記両リズムパターン情報が同一または類似であると判断された場合に、前記記憶された制御命令情報を基に、前記記憶されたリズムパターン情報に対応する制御命令を実行するステップととを実行させるためのものである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 6】

また、本発明の他の観点に係るプログラムは、サーバ装置に、ユーザにより入力された操作のリズムパターン情報を、ユーザが指定した制御命令情報及び制御対象の機器に関す

る機器情報と対応付けて記憶するステップと、前記リズムパターン情報の記憶後のユーザの操作のリズムパターン情報を受信するステップと、前記受信されたリズムパターン情報と前記記憶されたリズムパターン情報とを比較するステップと、前記比較の結果、上記両リズムパターン情報が同一または類似であると判断された場合に、前記記憶された制御命令情報及び機器情報を基に、前記記憶されたリズムパターン情報に対応する制御命令を前記制御対象の機器へ送信するステップとを実行させるためのものである。